

地域別集計報告 QOQTLPP月

PP月評価における経産牛の遺伝的能力評価値について、地域別の集計結果を掲載しています。

< 比較対象 >

改良の進み具合が分かるよう、現在とR年前の能力を比較したグラフを表示しています。

現在の値にはQOQQ年生まれの個体、R年前はQOPX年生まれの個体を対象に、rau G標準化育種価Hの平均を計算し、rauの平均値と、G H内にはR年間の増加量を表示しています。

< 地域区分 >

個体数ができるだけ均等に確保できるよう、北海道、東北地方、関東地方、北陸・中部地方、近畿・中国・四国地方、九州・沖縄地方の7つの地域に分けて集計しています。

< 対象形質 >

泌乳形質や体型形質などから、総合指数にも関係する、乳量、乳蛋白質量、肢蹄、乳器、体細胞スコア、泌乳持続性、在群能力のV形質の評価値を対象としています。

体細胞スコアは値が低くなるほど好ましい形質であるため、正負の符号を逆にした値を掲載しています。

地域の特徴

北海道

- ・乳量、乳蛋白質量、泌乳持続性、在群能力の評価値は地域の中で一番高い。
- ・泌乳持続性は増加量が一番大きい。

北陸・中部

- ・乳量、乳蛋白質量、肢蹄、泌乳持続性の評価値が高い。
- ・乳量、乳蛋白質量、肢蹄、泌乳持続性の増加量が一番大きい。

東北

- ・肢蹄、乳器、体細胞スコアの評価値は地域の中で一番高い。
- ・乳器は評価値の増加量が一番大きい。

九州・沖縄

- ・在群能力の評価値は地域の中で一番高く、乳器、体細胞スコアの評価値も高い。
- ・在群能力の増加量が一番大きい。

| | |
|-----|----|
| 佐賀 | 福岡 |
| 長崎 | 大分 |
| 熊本 | 宮崎 |
| 鹿児島 | |
| 沖縄 | |

| | | | | |
|----|----|-----|----|----|
| 山口 | 島根 | 鳥取 | 兵庫 | 滋賀 |
| 広島 | 岡山 | 大阪 | 奈良 | 愛知 |
| 愛媛 | 香川 | 和歌山 | 三重 | 静岡 |
| 高知 | 徳島 | | | |

近畿・中国・四国

- ・乳量、泌乳持続性の評価値が高い。

| | |
|-----|----|
| 北海道 | |
| 青森 | 岩手 |
| 秋田 | 宮城 |
| 山形 | 福島 |
| 群馬 | 栃木 |
| 埼玉 | 茨城 |
| 東京 | 千葉 |
| 神奈川 | |

関東

- ・乳蛋白質量、泌乳持続性の評価値が高い。
- ・乳蛋白質量の増加量が比較的大きい。

注) 増加量：各形質の「評価値」の増加量

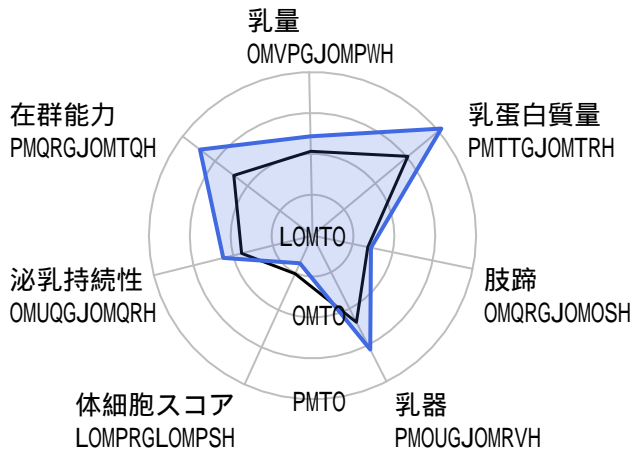
: Q0QQ年

: R年前GQ0PX年H

◁ ¥ 乳量・乳蛋白質量N肢蹄・乳器N体細胞スコアN泌乳持続性N在群能力について、Q0QQ年の平均値を計算した個体数

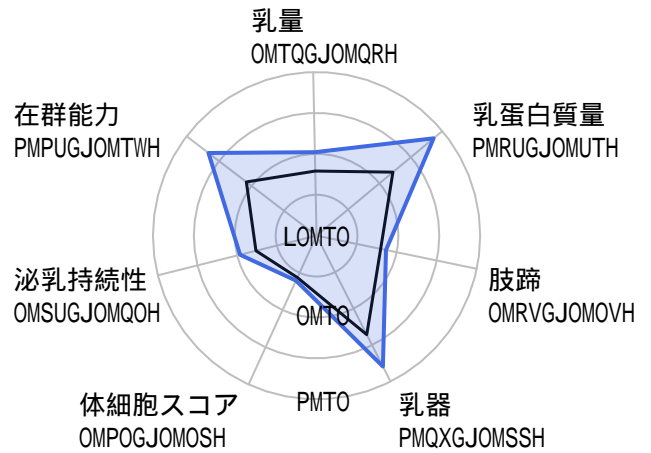
北海道

◁ ¥ POPKVXQN QTKRWVN XTKVQXN POPKVXQN PSKQTT



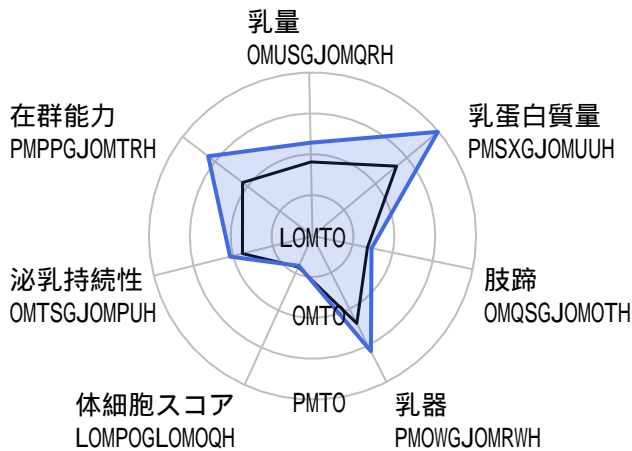
東北

◁ ¥ TKSUXN QKQSN TKPPRN TKSUXN PKQVV



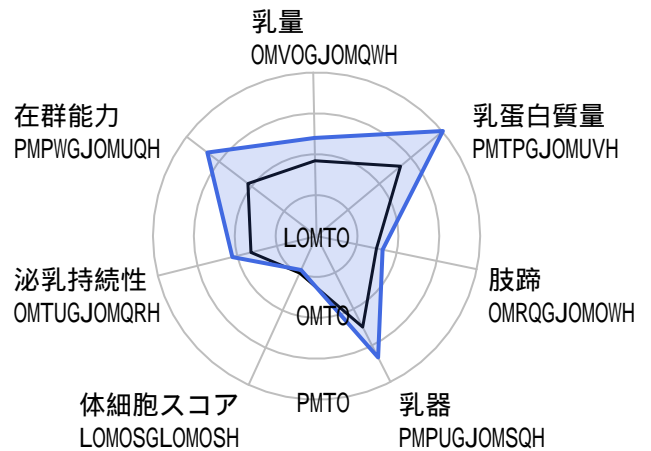
関東

◁ ¥ VKTRWN QKWQON VKOPQN VKTRWN XTT



北陸・中部

◁ ¥ QKWQSN XSRN QKTVRN QKWQSN QTP



近畿・中国・四国

◁ ¥ TKRSTN PKVOXN SKXRWN TKRSTN SWT



九州・沖縄

◁ ¥ WKUTQN QKRVPN WKOXPN WKUTQN PKUPV

